平新聞

（四日夕刊）

休刊大祭祝日毎日曜

定價 一枚二錢 壹ヶ月三十錢 郵税十五錢

廣告料 雜報欄五十錢 場所指定二十錢增

發行兼編輯印刷人 市島範三

福島縣平町仲町三番地 發行所 平新聞社

寄書

科學に沒交涉なる農夫（惡峰生）

西人曰く「弱き者よ、汝の名は女なり」と一道破したが、此の筆法を借りて、農村の現狀を批判すれば、弱き者は正に農民である、無智なる彼等は……然し予は農民の無智に向て、一點の經侮を加へ樣とは思はぬ、否却て滿腔の同情を、彼等に寄與せんと欲する者である、何となれば、彼等は敎育を受くるの機會を與へられぬのである、假令高等學校あり、中學校あり、農村學校實業學校ありと雖も、彼等は此處に就學するだけの、學資と時間の餘裕とを有せぬのである、丁度飼犬の前に御馳走を、山程積んでお預けを敎へるのと同樣の、無慈悲が行われる次第である、されば農民の無智は殆んど、恒久的である、從つて彼等は其收支償はざる農業を改善して、收支償ふものにする方法を知らぬ。

× × ×

農民は今や絕望の淵に臨まんとして居るのである、凡そ智識あるものは、如何なる窮境に在つても、其身の周圍を改造する、工風をなす事が出來るが、無智なる人の窮地に陷つた時は、其處に恐るべき、絕望と自棄とが來る、七千萬國民の大部分を占めて居る、農民の自棄は果して帝國に如何なる運命をもたらす事を豫言するであらうか、我等は憾然として其結果を惧れ、今にして此を救はずんば噬臍の悔を貽さん事を恐る。

嗚呼農民を救濟するの途なき乎、農業を以て收支償ふものとなすこと態はざる乎、予は然か信ずる事が出來ぬのである。

× × ×

抑々晚近産業制度の進步發達は、著しく生産費を節約して、需用の道を拓き、少費多産、以て潤益を增進せしむるに於て遺憾がない獨り農業のみ、此の運勢の外に立つて超然たるものは前に言ふ無智の結果より外に、原因を求むる事が出來ぬ、農業にして此二十世紀の新産業制度に適應するの資格を缺けば即ち止む、苟も然らざらんには一般社會の趨く所は便應せずして其業の不振を不利を說くは、實に痴人の夢を說くにも似た、愚の極であると謂はねばならぬ。

× × ×

新産業制度に於て、著しく進步せるものは、資本の合同である、諸種の製造業、諸種の店舖、それ等は昔日皆個人の經營する處で、店工場と私人の經營とは同一であつて、立宰者は一家の長で、從業者は一家の家族である、所謂家內工業、住宅營業の小規模なるものであつたのである、然るに星移り物變り、個人の店舖工場は合名商會となり、合資會社となり、株式會社に進み、遂にデパートメントストアとなる、十圓の資産は百圓に增し、百圓は千圓に殖え、萬圓十萬圓、今は百萬圓の大資産を一會社に併有するものすら敢て珍らしくはない、更に機械の應用に至つて恐るべく驚くべきものあり、昔時錐槌鑿等の如き單純なる器具を投じて營々數ヶ月を費して作りつゝあつた物も今は電氣一轉瞬間にして製作することが出來るのである其勞力を省き費用を減少する事は古人の夢想だも及ばなかつた所である。（未完）

× × ×

社員募集

營業部社員 一名

希望者は午後五時より面談あれ

平町仲町三番地 平新聞社

●若返り法の藥●

一八八九年、今から約三十八年前に當時七十二歲の老境に達してゐた佛國の生理學者ブローンセカールが犬の睪丸のしぼり汁を自分に注射して見た處大に若返つた氣分になつた

かれはその事をパリーの學界で發表したので當時の學界の大評判となり睪丸の內には不老不死の藥があるのではないかとまで世間でいはれるやうになつた

生殖器の機能はよほど精神的に影響のあるものであるからブローンセカールの若返りも若返りを手傳つたに違ひはないので睪丸液の眞の効力はどれ位のものであつたかは判然しないが併し兎に角利き目があるといふのでそれから色々とこの方向の研究が進み出した

その結果睪丸のみならず體內にゐる或る種の臟器にはこれまで知られてゐた働き以外に或物質を絕えず體內に産出して生活上重要な藥を體內に自給してゐる事が判然して來たのである。

ホルモン內分泌とはわかりよくいへばこれ等の自給してゐる所の色々の藥を總稱した名である

このホルモンはそれが産出される器管からそれに注いでゐる所の血液に混じつて體內を循環して生活機能を調節してゐるのである。

腦下垂体のホルモンが減少すると動物は發育が惡くなつて時としては一寸法師の樣なものが出來又それが增すと反對に魯鈍な大男が出來る。

又睪丸のホルモンが欠乏すると男兒は子供の時のまゝのやうで大人らしくならず卵巢の發育不充分な女兒はそのホルモンに乏しくして女子特有の發育を遂げることが出來ない又これ等のホルモンはお互に共同して身體の健康を保つてゐることもわかつて來た。

一体人間の身體は自身を害ふやうなものは成るべくこれを寄せ付けないやうにする傾向がある。例へば眠られない時に催眠の藥を飲むといふことはこの考からいへば不自然である。睡眠の原因はまだよくわかつてゐないが終日働いた時に體內に何か眠氣を催すやうな物質が出來てそれで睡眠を催ほすものである。

さうすればこの疲勞素とても名付けやうものを取出してそれを催眠藥とすればそれこそ理想的の催眠藥が生れるわけであるがいまだ理想には達してゐない。かういふ點から見ると年老ゆれば死ぬ併し老衰して死ぬのにも或人は百歲までも生き或人は五十歲位ですでに老死するこれ等も勿論ホルモンに關係してゐる事は明白であるゆゑに體內にある總てのホルモンとその生理的作用が判明しまたこのホルモンの産出を調査する事は出來るやうになつたらは疲病の治療は今よりも非常に進步するであらうこのホルモンを硏究してこれを疲病治療に應用することは藥としては實に理想的の藥です。

平町田町宇佐美藥局特約販賣の腦と生殖器の藥ヱキスピン金五圓十圓之れなり

募集

草履製造販賣人日給四五圓

十三歲以上二十五歲迄四五名

但し場所東京右希望の方は本人來談あれ

チクオンキ 和洋樂器

平町二丁目 **三幸堂**

信用と責任本位をモツトーとせる

電動機變壓器

發電機蓄電池

石油發動機揚水ポンプ

精米機精麥機

各種メタル調車類

各種ベルト諸機械

金銀ニツケル鍍金

修繕販賣

（大）

正金商會

平町七丁目

鑛山用機械

モートル

變壓器

各種ポンプ

ベルト

傳導器

ストーバー

小型發動機

平白銀町停車場前

田邊商店

電話二六七番

募集

一、指物職工 五名

一、雜夫 一名

右希望者は本人來談の事

家具漆器製造販賣

椅子修理部新設し一般影替可仕候

（本）**丸はん**

平町三丁目 電話 三五九 七二三番

來る十月一日より

●改正電球引換料●

五十燭光以下のB電球（瓦斯入電球を除き）引換料を左記の通り改正致します

種別	斷線引換	破損引換
五燭	一五	二八
十燭	一五	二八
十六燭	一五	二八
廿四燭	一五	二八
卅二燭	一五	二八
五十燭	一五	二八

東部電力株式會社

平營業所

鈴木眼科醫院

平町研町 電話四三八番

耳鼻咽喉科專門

大和田醫院

平町南町 電話一七〇番

大崎洋服店

平町田町 電話七一三番

蒲鉾開始

今回蒲鉾製造を開始致しました。鰹節も澤山あります。大奮發。大勉强。多小に不拘何卒御用命を願ひます。

平町二丁目 **藤市蒲鉾店** 電話三〇五番

いよ〳〵決定した
小名濱重要港灣指定
二十日港灣調査總會で
縣會は否決乎？
知事原案執行乎？

内務省臨時港灣調査會は廿日前後内務省會議室で開會明年度豫算に關係ある第二種重要港灣指定を行ひ直に主務省に答申するはずであるが塩釜港以南銚子港以北の代表港として本縣小名濱港を指定するに内定した修築計畫は左の通りで總工費三百八十八萬圓に對し國庫補助は半額の百九十四萬圓明年度から内務省直轄工費として施行すると

△防波堤　現在漁港防波堤の西方に長三百間の防波堤を築設す

△防砂堤　本港西の砂濱より來る漂砂をさえぎるため長二百六十間の防砂堤を新埋立地の西端より南に向つて築設す

△岸壁　前記防砂堤の東約百五十間の處に於いて幅員七十間長さ二十間の阜頭一基を突出せしめその東側に長百二十間の繋船岸壁を設くこれらの水深はいづれも二十四尺にして三千トン級船三雙を同時に繋留するを得せしむ

△埋立地　前記の阜頭並に市街地の前西の海岸に沿ひ總計約八萬坪の埋立地を埋築す

△物揚場護岸　阜頭埋立地の九百四十間の護岸物揚場を築造す

△しゆんせつ　港内泊地の中約九萬三千坪を水深二十四尺にしゆんせつす

國庫補助年度割

年度	補助額
昭和六年度	六四〇、〇〇〇圓
七年度	六五〇、〇〇〇
八年度	六五〇、〇〇〇
計	一、九四〇、〇〇〇

而して國庫の補助決定の上は來る二十五日より開會する**臨時縣會**に提出して協賛を需むる筈であるが多數黨たる民政派にては全然**否決**の意嚮であるが伊東知事は自已の責任上**原案執行**の手續をとるべきものと觀察せられ此のなり行は石城地方の重大問題として一般の注意を惹いてをる

愛馬にむち打ち
一路下關へ
きのふ青森を發した
長途騎乘勇士構田氏

青森から下關まで本土五百六十五里の長行程を單騎縱走を企てた入遠野村櫛田彥之進氏はいよ〳〵三日朝愛馬にむち打つて青森縣廳前を元氣で出發途中まで見送つた青森乘馬クラブ員に別れのあいさつを殘し必ず成功しますと、かたい決心の色をうかべてなほ氏の日程は三日折戸泊（行程約十二里）四日傳法寺泊（行程約十五里）五日岩手縣福岡泊（行程約十四里）で途中三日間休養下關着は十一月六日の豫定である。

平禁酒會で
講演と映畫

平禁酒會にては來る六日午後六時から平劇場に於て講演會を開き鈴木積善、石川道彥、成瀨才吉、植竹源太郎氏等の講演に次て東京より特派の青木庄藏氏の有益なる講演をなし後活動寫眞を以て地獄に墜ちる者外七篇の映畫を以て大に禁酒の宣傳をなす筈である

希望者講演會
七日平町に於て

東京市にて發行する修養雜誌『希望』社の山崎專務取締役は過般より東北各地講演巡回中であつたが來る七日平町に於て講演會を開催す

農事傳習會
麥作及び紫雲英の講演

農事試驗塲石城分塲主催農事傳習會は來る十日午前九時より同分塲講堂に於て開き試驗塲技手本橋正太郎氏の麥作增收及紫雲英栽培に就いての講演がある

大なるすぢ違ひ
山代氏の選擧損害賠償
請求訴訟に對して
白戸課長語る

縣會議員候補者として本郡から出馬した無產黨の山代吉宗氏が縣知事に對し候補者届出でを受理して置きながら投票當日失格させるとは不都合であると法定選擧費用二千三百圓の損害賠償請求訴訟を平支部に提起した事は所報の如くであるが右に付いて白戸地方課長は語る

候補者に對する被選擧權の有無は選擧當日選擧長と立會人との合議によつて決すべきもので縣より告知すべき筋合のものではない候補者の届出受理は形式的のもので被選擧者が自ら調査すべきもので其の資格の有無を縣が穿鑿すべきものではない本人は平町から住所を移して置きながらそれを知らずに立候補したのだがもう少し法規を調べてやつて貰ひたい從つて當方は法規上何等落度はない

櫻井文庫開設

平町磐城高等女學校では故櫻井校長遺族からの寄附金で設けた櫻井文庫が出來あがつたので近く生徒に開放すると

イモ栽培調査
農商林省技手
本郡に派遣

石城郡地方のイモ栽培狀況調査のため本月中旬頃縣では同郡小名濱町大浦村地帶で實地調査を行ふが主として同地方におけるイモの普通に行はれる栽培法並びに品種反當り收量その他の狀況視察で農林省中村技手縣農務課から古賀技師出張

供託金沒收
全國で百三名に達す

今回の府縣會議員選擧において得票が法定數に達しなかつたゝめ供託金を沒收されたものは二十五日投票を終つた一府二十七縣で總計百三名その政派別は左の如くである（内務省發表得票政派別による）

政派	人數
政友	一五
民政	一二
革新	一
實業同志會	一
無產各派	四九
無所屬	二五

職業紹介の
事務打合會
平町より四家書記出席

縣下職業紹介事務打合は豫定の如く三日午前九時より福島市役所會議室に於て開催されたが出席者は大森郡山市長所長鈴木書記平町四家書記福島市岡野所長金澤書記菊地書記加藤雁の七氏で議題は左の如くである

議題

一、縣下職業紹介所の連絡を一層緊密ならしむる方法に關する件

二、小年職業紹介所に關し共同して施行すべき事項に關する件

平町提出

一、庶務に就て

（イ）職業紹介所に補助金を交付する如く更に縣に申請の件

二、聯絡事務に就て

（イ）各地共通的に需給至難なる求人及求職の聯絡事務を省畧する如く其の筋に建議するの件

（ロ）縣下紹介所間の聯絡を一層緊密ならしむるため良法あらば承り度

三、少年職業紹介に關する件

（イ）委員會設置迄の經過並に設立後に於ける効果承りたし

（ロ）求人開拓上最も有効なりし實例承り度し

（ハ）就職後に於ける保護指導上の良案承り度し

（ニ）求人開拓をなすも實條に當り紹介し得ざる求人者に對して執りたる處置承りたし

福島市提出

一、浮浪求職者取扱に關する件

各地通信

本郡鹿島村にては來る十四日秋蠶繭の品評會を小學校に開催し成田技手審査をなし褒賞を授與すと

◇本郡養蠶同業組合山田村支部では去卅日同村上山田小學校敎塲で秋期繭品評會を開催したが入賞者如左

▽一等川原吹傳一鈴木保藏▽二等瀨谷鶴次鈴木秀之助川原吹孝藏、佐川百藏、瀨谷忠治郎、金山淸吉▽三等木村龜次外十一▽四等鈴木稿次外卅三名

◇本郡山田村青年團は今四日同村小學校に於て秋期總會を開催するが當日は農事試驗石城分塲小塙技手の農事振興に關する講演がある

◇平署及び植田署管內の狂犬病檢診及び豫防注射は左記町村役塲前で左の如き日割で執行すると▽五日湯本▽六日磐崎▽七日小名濱▽八日泉▽九日植田錦▽十日勿來

明日の運勢

十月五日
舊九月十日
水曜　閉
壬甲　箕宿
赤口

●一白の人强いて求めずとも次第々々に太り行くべし

●二黑の人物始めに尤も吉き日殊に文學上の事に上吉

●三碧の人引立てゝ遣ると云はるゝも當てにならぬ日

●四綠の人我も人も皆な善かれと祈り暮すべき注意日

●五黄の人石を取除け道を造りつゝ寸前尺歩すべき日

●六白の人初めに難色あるも後は次第に亨通すべし

●七赤の人果斷を欠くときは何事もはかどらざる日也

●八白の人苦心の企て事が追々と利得に向ひ來る吉日

●九紫の人人の事にて迷惑失費多し世話事は注意の日

津生菓子箱
タオル箱
風呂敷箱
商品券箱
鷄卵箱
洋服箱
銘茶箱
御壽司辨當折箱
角切折箱外箱類一式
其他箱に附隨せる品揃へてあります

一〇商店（いちまる）
電話三六八番
振仙七一六七番